

～伝統の100畳の大凧揚げ～

座間市

大凧まつり



令和6年 5月4日(土)・5日(日)

時間：午前10時～午後4時

場所：相模川グラウンド (座架依橋上流)

(小田急線 相武台前駅からシャトルバスで約20分)

舞い上がった昨年の大凧「華風」

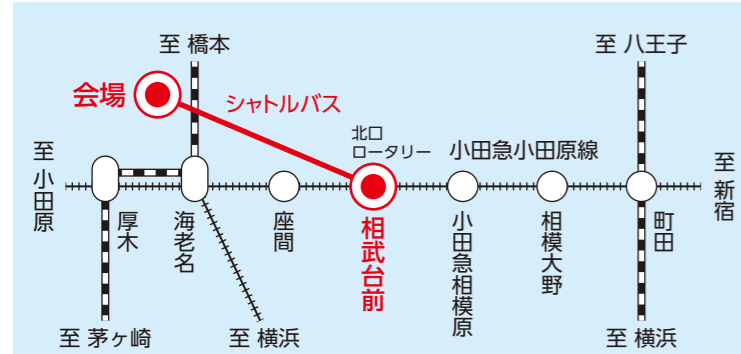


座間市マスコットキャラクター「ざまりん」

【大凧まつり実行委員会事務局 (座間市役所 地域プロモーション課)】 TEL 046 (255) 1111

- 主催：座間市大凧まつり実行委員会
- 主管：座間市大凧保存会
- 後援：神奈川県
- 協力：日産自動車株式会社座間事業所
陸上自衛隊座間駐屯地曹友会

アクセスのご案内



※協力金は、大凧まつりの運営に充てさせていただきます。

電車・シャトルバス

まつり当日は小田急線相武台前駅～会場間でシャトルバスを運行します。会場内やバス停などで、まつり開催協力金をお願いしています。

- 相武台前駅発 午前9：00～午後3：00
- 会場発最終 午後4：00
- *時間中、約20分間隔で運行します。

自動車

駐車場の数に限りがございますので、ご了承ください。また、会場周辺は渋滞が発生しますので、公共交通機関での来場をお願いします。駐車場へは未舗装道路を通ります。

会場周辺地図



ナビなどを設定する際には西中学校 (座間市座間 2-1230) を設定してください。

NISSAN MOTOR CORPORATION

ありがとうございます。座間市と共に59年
日産自動車 (株) 座間事業所



【見学会お申込み方法】

見学予約受付中 (完全予約制)

見学お申し込みはWebで

日産ヘリテージコレクション

検索

click!



座間市商工会

座間市商店会連合会

座間工業会

(株) マグトロニクス

よろこそ座間の伝統行事「大凧まつり」へ

座間の大凧揚げは、江戸時代後期の文化・文政年間（1804～1830年）に“端午の節句”を祝う催しとして始まり、200年以上の歴史を持つ伝統行事です。

当初は、2間（3～4m四方）程度の大きさで、各地域の家々で個々に作って揚げていました。時代が進むにつれて凧が大きくなり、各地域の青年達が協力して作り、揚げるようになりました。

現在の大きさになったのは明治時代中頃からですが、家々が増え、電柱等が多くなるに従って掲揚の場所がなくなり、田んぼで行われるようになり、昭和40年代に全市をあげて一箇所で揚げるようになり、昭和50年頃には大凧保存会が結成され相模川グラウンドで開催するようになりました。

昭和57年には、“かながわまつり50選”に選定、平成3年には国の選択無形民俗文化財に指定され、伝統行事・伝統芸能として例年、盛大に開催されています。



令和元年の大凧揚げ（相模川グラウンド）

イベント案内

開催時間（午前10時～午後4時）

- 5/4
- ・わんぱく相撲座間場所（午前8時半受付開始）
 - ・大凧まつり開会式・昼花火（午前9時開始）
 - ・フリーマーケット（午前9時開始）
 - ・第721米陸軍グアム州兵音楽隊演奏（午前11時～午後1時予定）
 - ・大凧・中凧掲揚（午前11時半～午後4時）
 - ・ざまりん握手・撮影会（随時）
 - ・座間の大凧の歴史ブース（随時）
 - ・友好交流都市特産品販売（随時）（福島県須賀川市・秋田県大仙市）

- 5/5
- ・お仕事ぐるま展示（午前10時～午後4時）
 - ・大凧・中凧掲揚（午前11時～午後3時）
 - ・市内中学生凧掲揚（午前11時予定）
 - ・在日米陸軍音楽隊演奏（午前11時～午後1時予定）
 - ・大凧お焚き上げ（午後3時半～）
 - ・ざまりん握手・撮影会（随時）
 - ・座間の大凧の歴史ブース（随時）
 - ・友好交流都市特産品販売（随時）（福島県須賀川市・秋田県大仙市）

※ 大凧の掲揚は概ね1時間おきに行いますが、風向き、風速の状況により中凧等の掲揚に替えることがあります。

※ 凧の掲揚、イベントの開催は天候により中止、変更されることがあります。



秋田県大仙市「昼花火」
友好交流都市の秋田県大仙市が、開会式終了後、煙で模様を描く昼花火を打ち上げ、華を添えます。



わんぱく相撲
大凧まつり会場中央部で開催される小学生相撲の大会。4年生以上の優勝者は座間場所の代表者として、両国国技館で開催される全国大会に出場します。（雨天時は栗原小学校体育館で開催。）



米陸軍音楽隊演奏
グアム駐在の第721米陸軍グアム州兵音楽隊は、昨年に続く出演。キャンプ座間駐在の在日米陸軍音楽隊は、今年10月のバンド閉鎖に伴い、大凧まつりへの出演は最後となります。



市内中学校生徒による凧揚げ
市内中学校6校から募集した生徒が引き手となり、三間凧を大空に揚げます。（5日のみ）

多くの人に関わった大凧を大空へ



文字書きの様子



糸目付けの様子



まつり当日。骨組みに紙を貼る様子



縦横13メートルはビル4階分に相当します。実際にそばに近づくと、誰もが大きさに驚きます。

大きさ 13m四方（100畳）
総重量 1,000Kg（1t）
引き手 100名
製作期間 3ヶ月

今年の凧文字は「輝龍」

凧文字は毎年公募しており、今年は27作品の応募がありました。その中から選ばれた今年の凧文字「輝龍」（こうりゅう）は、市内在住の團里珂子さんが考案したもので、「今年の干支である龍が、光り輝きながら空を駆けるように、力強く美しい様子を表したくて組み合わせました。」とのこと。



神奈川県座間市の紹介

座間市は、神奈川県ほぼ中央、東京都心から約40km、横浜から約20kmの場所に位置している人口約13万人の都市です。

市の面積は17.57平方キロメートルで、台地と低地が混在する起伏に富んだ地形をしています。

【交通】
市の南東に幹線道路の国道246号線が通り、西部の相模川を渡ったところには圏央道が通っています。市の南北を小田急小田原線とJR相模線が貫き、市の東側には小田急江ノ島線、南側には相鉄線と、周囲を鉄道に囲まれているなど交通の便に恵まれています。

【座間のひまわり】
ひまわりの植栽は遊休農地の荒廃地対策として始まりました。現在、市内では夏に約55万本という首都圏最大規模でひまわりが咲き誇ります。

また、商店街では、ひまわりを使った焼酎やひまわりクッキーも販売するなど、ひまわりによるまちづくりも進めています。8月には、ひまわりまつりが盛大に開催されます。

【ざまりん】
55万本咲くひまわり畑で生まれたひまわりの妖精。ぽっこりお腹には、夢と希望の種がいっぱい詰まっているので、タッチするといいことがあるかもしれません。

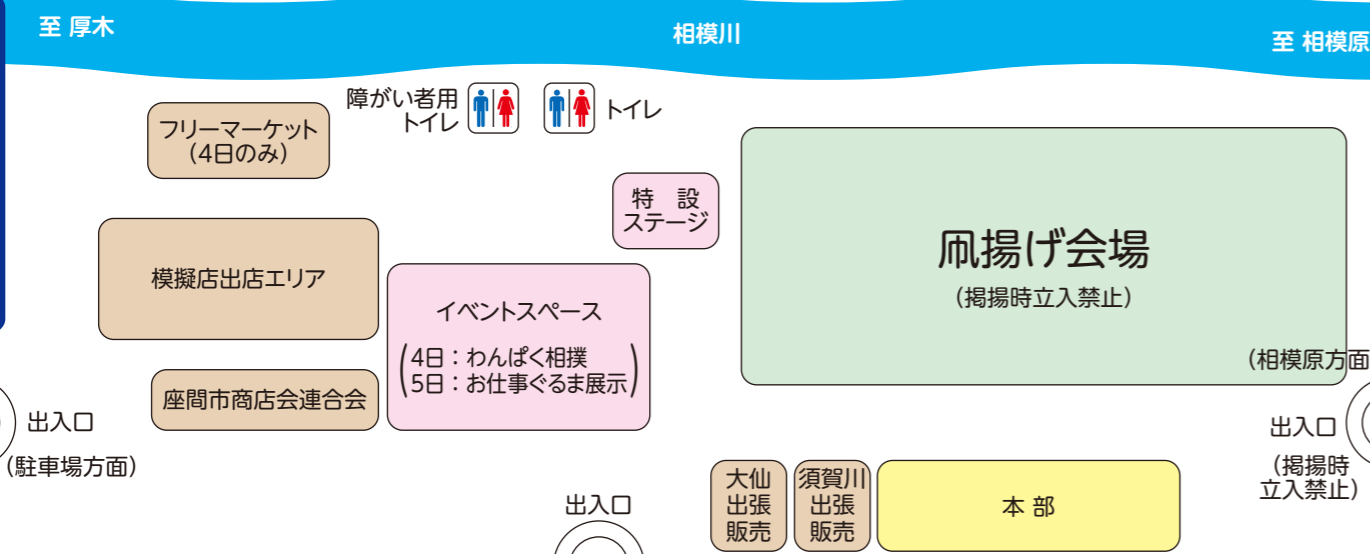
【座間の水】
座間市では、市内に湧水が湧いているほど、水が豊かなまちです。そのため、座間市の水道水の約80%は地下水を利用しています。

その地下水をそのままアルミボトル缶に詰めた「ざまみず」は市役所を始め、市内の約30ヶ所で発売中です。



会場案内

出入口



【お願い】ごみは所定のごみ箱にて分別回収しております。ご協力をお願いします。